

## 四日市のいしがクリニック きょうオープン

在宅医療専門の診療所「いしが在宅ケアクリニック」（四日市市山城町）が2日から隣接地に移転し、全国有数規模の在宅ケア施設としてオープンする。患者、家族らがくつろげるカフェや、在宅医療に携わる関係者が講演会、勉強会などを通じて交流できるホールなどを備えている。石賀丈士理事長は新クリニックを中部・関西圏の在宅医を育成する拠点と位置づけ、「一人でも多くの研修医が各地に巣立つことで在宅医療がもっと推進していけば」と期待する。

【松本宣良】

同クリニックは2009年に開設。末期がんなど重度の患者を中心へ往診しており、現在、在宅患者は約600人に上る。病院でがん患者らが闘病の末に亡くなるケースが多い中、自宅で家族に見守られながら、穏やかな最期を迎えるようになり方している。そのためには、患者の苦痛を取り除く緩和ケアの専門的な知識が必要だ。

# 在宅医の育成拠点に

クを整備した。

鉄筋コンクリート造り3階建てで、延べ床面積は約1800平方メートル。3階には在宅患者

を抱える家族や遺族、外来患者らが気軽に立

り受け入れやすい環境にするため新クリニック

ち寄れるカフェ（フリードリンク）がある。

これまで7人の研修医ができる研修施設が中部

收容できるホールは研修医やスタッフのほ

ど在宅療養の悩みなど

を相談できる。約70人

ここで医療スタッフら

勉強できる空間で、市

民向けの健康講座など

思ふ」とアピールする。

も開く予定だ。

石賀理事長は「在宅のみどり数が多いクリニックとして在宅医を育てる義務もある。従来の在宅クリニックに

ない明るく、斬新な空

間に提案することで研

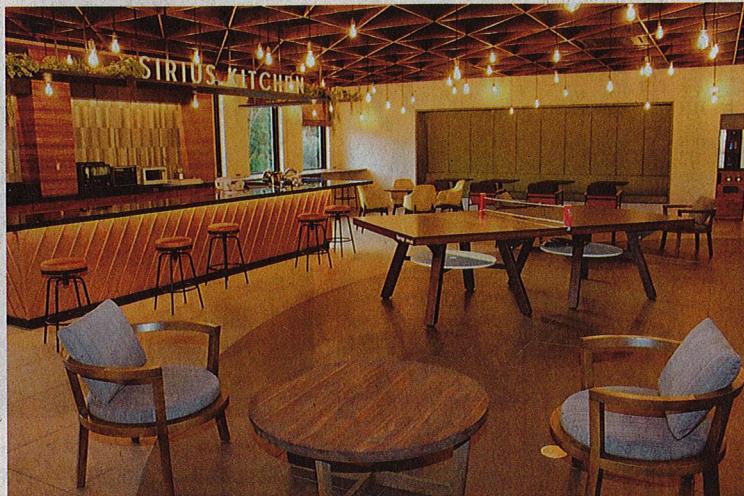
修医が来やすくなると

う」とアピールする。

力強化のため、捜査一課検視官室を3人増やす。信号機の整備や横

人を増員する。

## カフェやホール併設 勉強会など実施へ



上 在宅患者の家族らがくつろげる広々としたカフェ 下 新クリニックの外観=いずれも四日市市山城町で

9組が嫁入り社で一日が行われる。津市榎原道町の宿原温泉振興会議場にて恒夫婦のないの感謝とめた

県警が人事異動  
1166人

力強化のため、捜査一課検視官室を3人増やす。信号機の整備や横人を増員する。

警察学校長（地域課長）  
市北署長 木村光伸▽生

安全対策課長 大野敏幸  
加藤匡▽警務課長（四日市署長）橋本利秋▽交通企画室長 筒井正司

聴広報課  
総務課長（名張秀樹▽警部監察官）堀